

(様式7-2)

会派政務調査活動・先進地調査等 精算書

2025年11月17日

三田市議会議長様

本会派（私）は、会派政務調査活動・先進地調査に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会派名	日本維新の会 三田		代表者	
			議員名	福本愛
派遣者氏名	福本愛、長谷川良果			
視察先	丹波篠山市立学校給食センター			
調査事項 (調査目的)	丹波篠山市は「学校給食甲子園優勝」および「オーガニックビレッジ宣言都市」として、地産地消・食育・有機農業の連動による先進的な学校給食を実践している。本視察では、「栄養バランス×地域連携×給食費の持続性」の三点を中心に、今後の三田市給食運営の参考とする。			
日時	2025年11月11日（火曜日）			
支払金内訳	科目	支出額	摘要	
	宿泊料			
	日当			
	鉄道賃 (モジュール)			
	航空賃			
	バス賃			
	船賃			
	タクシー			
	その他		自家用車につき、交通費不要	
	合計			
備考				

※100km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

2025年11月17日

三田市議会議長様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会派名	日本維新の会 三田 /	代表者	
		議員名	福本愛 /
派遣者氏名	福本愛、長谷川良果 /		
視察先及び調査事項(調査目的)	丹波篠山市は「学校給食甲子園優勝」および「オーガニックビレッジ宣言都市」として、地産地消・食育・有機農業の連動による先進的な学校給食を実践している。本視察では、「栄養バランス×地域連携×給食費の持続性」の三点を中心に、今後の三田市給食運営の参考とする。 /		
日時	2025年11月11日(火曜日) /		
視察先対応者	丹波篠山市教育委員会事務局 学校教育部 酒井寛興部長 丹波篠山市教育委員会事務局 学校教育部 東部学校給食センター 糸川尚子所長 /		
(調査結果の概要及び所見)別紙でも可			
<b>食育・地産地消の強化</b> 今回視察した給食センターのように、地元食材を多く活用する取り組みは、子どもたちの地域理解や食文化への愛着を深める上で非常に効果的である。三田市においても、地元農産物の学校給食への利用拡大をさらに推進したい。			
<b>特色ある献立づくり</b> 丹波篠山市では、季節感・郷土食を献立に取り入れることで、給食を単なる栄養補給ではなく「食を学ぶ場」として活用している。三田市でも、地元の伝統食・旬の食材を活かした献立開発を強化し、食育効果を高める余地があると感じた。			
<b>情報発信と市民参加</b> 給食レシピ本の作成と販売、学校・地域との試食イベント、交換ノートによる双方向コミュニケーションなど、情報発信と参加型の仕組みが充実していた。これらは市民満足度を高め、給食への理解と協力を促す重要な手段となる。三田市でも、レシピ集や試食会、意見交換の場を設けることを推進したい。			
<b>継続的な改善と声を聞く体制</b> 給食センターが日常的に子ども・教職員・生産者の声を収集し、運営にフィードバックしている点は非常に模範的。三田市でも、定期的なアンケートや対話の場を設け、生の声を給食制度改善に反映させる体制を強化すべきと感じた。			
<b>地域との連携強化</b> 生産者と給食センターの協力関係を深めるだけでなく、学校や家庭、地域住民を巻き込んだ食育活動を推進することで、給食を地域の学びと連帯の場として活かせる。三田市でも、農家・JA・教育委員会などとの協議会を定期的開催し、給食を文化・教育・地域振興の観点から戦略的に位置づけることが必要ではないかと感じた。			
今回の視察で得た知見を参考に、より質の高い学校給食の実現に向けて、今後の改善提案に努めていきたい。			